



家庭通信 3月号

2026年2月27日
学校法人 織田学園
おだ認定こども園

春の光に包まれて ～心の根っこが育った一年～

陽だまりの中のたくましい姿

春の訪れを感じる柔らかな日差しの中、気温が高まると子どもたちはさっそく水を運び、どろどろになった土の感触を楽しみ始めました。汚れなど気にせず、思うままに遊びに熱中する姿。その生き生きとした表情に、冬を越えた子どもたちの確かな「たくましさ」を感じています。

目に見えない「心の育ち」を見つめて

今年度最後の家庭通信となりました。この一年間、子どもたちは様々な経験を通して、心も体も大きく育ちました。特に「心の成長」には目を見張るものがありました。心の育ちは本来目に見えないものですが、日々近くで共に過ごしてきた保護者の皆さまと私たちは、その変容を肌で感じ取っています。

- ・あきらめない根気： 困難なことがあるとすぐに諦めていた子が、何度もチャレンジできるようになり、粘り強さが出てきました。
- ・ゆたかな表現： かつては言葉にならない思いを一生懸命「グズグズ」することで伝えようとしていた子が、今では多様な表現を身につけ、言葉で伝えられるようになったり、機嫌よく過ごせる時間が長くなったりしています。
- ・一年間、同じ環境の中で規則正しい生活を営むことで、子どもたちの中に「見通し」が立ち、安心して自分を出し、行動を変えていく力が蓄えられたのです。自ら育とうとする子どもたちの素晴らしい能力、そしてその「嬉しい瞬間」にたくさん出会わせてもらった一年でした。

【感謝を込めて】

3月15日には「第60回 卒園式」を執り行い、60名の子どもたちが園を巣立っていきます。この一年間、園の教育・保育を温かく見守り、多大なるご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

一つの区切りである今月、子どもたちの成長を改めてしみじみと感じながら、大切に過ごしてまいりたいと思います。今後も保護者の皆さま、地域の方々と手を取り合い、より良い環境作りに努めてまいります。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

3月のねらい

<年長組>

- ・友達と関わり合いながら、自分の力を発揮し、遊びや生活を進めていくことを楽しむ
- ・友達と互いの良さを認め合いながら園生活を楽しむ
- ・園生活の様々な遊びや活動を通して自信をつけ就学に向けて期待を持つ

<年中組>

- ・進級することに期待を持ち、進んで活動に参加しながら園生活を楽しむ
- ・いろいろな友達と関わったり、遊んだりすることを楽しむ。
- ・集団で心地良く生活する為の基本的な習慣や態度が分かり、自分から行おうとする

<年少>

- ・保育者や友達と関わる中で、お互いの思いを言葉で伝え合おうとする
- ・様々な場所へ散歩へ出かけ戸外で身体を動かすことを楽しむ
- ・異年齢と一緒に遊んで交流する
- ・進級への喜びや期待を持つ

<2歳児>

- ・身の周りのことをやってみようとし、できた喜びを感じる
- ・戸外で遊ぶ中で、保育者と一緒に季節の自然物の発見を楽しむ

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。